

## ユニークな社員研修から車社会の未来まで 第10回パワーアップセミナー報告

### 社員全員が経営とコンピューターを理解する会社に

ヒューマングループ 代表取締役 内海 和憲

#### 障害者教習や少年院の教習に力を入れた先代の遺志を継いで



39歳の時、先代社長の急逝により社長に就任。先代が1957年からボランティアで100名近い少年院の子どもに三輪免許を取らせたり、1962年には障害者の教習を民間で初めて取り組んだこと等を知り、創業の精神は人間愛=ヒューマンと理解しヒューマンと社名を改めました。当社では12月29日に全社員参加で経営計画発表会を実施しておりますが、その時全員の笑顔?を撮影し、新年早々社内報に掲載し社員に配布します。経営計画発表会を始めた当時はなかなか笑顔の写真が撮れなかった…!?

#### マネージメントゲームで全社員が経営者感覚に

今では全員が笑顔で出席するようになりましたが、その陰にはマネージメントゲーム(以下MG)との出会いがあります。社員が全員経営者になり、資本金300万円で5年間経営するというゲームを2日間かけてやる。この中には経営のエキスが全て詰まっています。

例えば減価償却の意味がストンと理解できたり、損益分岐点がわかるようになったり。すると値引きに対する意識が変わり、値引きのかわりにCSに取り組もうとする。又、ゲームの中で倒産を経験することが実はとても重要で、他にも得意先倒産、広告失敗、ストライキ、倉庫火災など、危機管理を疑似体験することで経営という感覚が養われていきます。

#### スタッフ全員がコンピューターを使いこなす会社に

MGと同様、コンピューターも社員全員で取り組んでいます。導入時は社員の抵抗にあい、試行錯誤の末、現在では1人2台PC(1台はiPad)を持ち、学校運営情報やお客情報などをスタッフ全員で共有し、業務を行います。また、iPadを使った教習も進行中です。

#### アメリカで出会ったホスピタリティ

ホスピタリティを一流のサービスから学ぼうと社員7人とアメリカに行った時、あるレストランで7人皆、違うものを頼んでみようということに。最初のオーダーにウェイトレスは「Oh, great!」、次の人には「Very good!」と返した。3人目には何とかな、と思っていたら、「Good choice!」その次は「Delicious!」。そしてWonderful! Beautiful! Excellent!...と、なんとすべて違う言葉を返してくれたのです。思わず全員でスタンディングオベーション。これぞホスピタリティ!と皆、感動しました。「お金をかけなくてもお客様を喜ばせることができる」ということを肌で学んだ社員達はその後、さまざまなサービスのアイデアを出すようになりました。

#### トイレが汚れるのはありがたい

トイレ掃除も大切な研修。「汚れていない時はお客様が少ない時。トイレが汚れるのはありがたいこと」など感性を高めてくれる気づきがたくさんあります。今では近くの駅のトイレ掃除をして、感謝されるまでに。そして、どのようにすればお客様に喜ばれるスクールになれるかと、一人一人が考えるようになりました。

#### 参加者の笑い声が響いた名刺交換会と懇親会

講演終了後は名刺交換会。熱気に包まれた会場では、そこかしこで談笑の音が響きました。その後、お楽しみの懇親会。恒例の轟会(コヤマドライビングスクールで長期研修を受けた教習所二世の会)による交通〇×クイズは第1位に2チームが並び、ジャンケン決着となりました。当社営業スタッフのユニットS2Kスマイルは、新人2名を迎えての初ステージ。「祭り」と「虹」の2曲をご披露しました。

### 自動車技術の進化の先には人と車と自然の共生があった

日産自動車 企画先進技術開発本部  
テクノロジーマーケティング室長 岸本 洋一

#### 究極のゴールは、死亡・重傷者実質ゼロ

日産自動車では「クルマが人を守る」の考え方のもと、さまざまな安全技術の開発を行っています。たとえば高齢者に増加しているアクセルとブレーキの踏み間違え事故防止では、ドライバーより早く踏み間違えに気づき、踏み込んだアクセルの加速を抑えるシステムを実用化に向けて開発しています。また、前方車両との衝突防止では、危険を検知すると警報でドライバーに知らせ、それでもドライバーが減速できなかった場合、急制動を実施し、衝突を回避します。

これらは事故を未然に防ぐ「予防安全」と言われる先進の安全性能で危険を段階的に捉え、クルマを繭のように幾重にもシールドすることでドライバーを危険から遠ざけるというものです。

#### 電気自動車とクリーンエネルギーは最強タッグ

当社のリーフはガソリンを全く使わない完全な電気自動車。走行中はCO<sub>2</sub>をいっさい排出しません。専用のITシステムにより航続可能距離の表示から、ケータイからエアコンのコントロールができるなど様々な便利機能も。充電は家庭で出来、1回の充電で約200km走行します。停電時には家庭の2日分の電力として利用することも。さらに今後は電気自動車に太陽光発電した電気を充電することで、エネルギーの自給自足が可能になります。光や風などのクリーンエネルギーは発電量にムラがあるのが弱点ですが、EVや蓄電池を組み合わせることでより有効に利用できるようになります。

教習所では電気代の安い夜間に充電し、その電力を昼間、所内で利用するということが今後は可能になってくるかも知れません。

### 1台で何役も。日産リーフを教習所の「看板カー」に

オーテックジャパン LV商品・販促企画部 エキスパート 吉田 仁

当社は日産車の特装車両を製造しており、教習車仕様のリーフも扱っています。導入状況はまだ全国で40台程なので、今導入すればニュース性が高く、「電気自動車が体験できる」「環境に配慮している」など、イメージアップで他校との差別化をはかれるかと思えます。

高速教習やセット教習、高齢者講習、企業研修や自由練習など、1台あれば様々なシーンに利用できます。導入された教習所では、教習生の評判も上々と、話題作りにもお役に立っていただいております。



リーフ体験会では皆さん興味津々

### パワーアップセミナーに参加して

#### タイムリーな内容にパワーをいただきました

高田自動車学校 取締役 田村 光

地方の自動車教習所を取り巻く環境が悪化している中で起こった昨年の東日本大震災。入社して1年半が過ぎましたが…まだ1年半かよっ!というくらい密度の濃い歳月でした。今回、セミナーに初参加させていただき、大変参考になりました。株式会社ヒューマングループの内海社長のお話は、自動車学校に入社して間もない私にも理解しやすい内容でした。中でも『社員全員経営者』に関しては、私自身が今まさに考えていることがタイムリーに聞けて大変ありがたかったです。被災地における自動車教習所の環境は今後も厳しいことが予想されますが、今回いただいたパワーを糧に頑張りたいと思います。最後になりましたが、全国の皆様方の被災地支援、本当にありがとうございます。

